

よう

こう

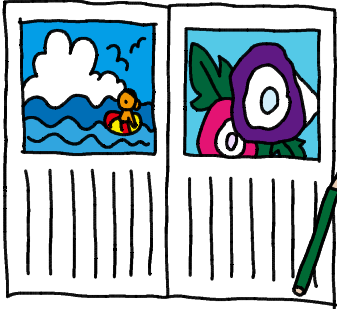
# 陽光

菊陽町立菊陽中部小学校  
2021年（令和3年）



学校だより  
7月20日  
第29号  
文責：佐賀

校訓  
夢を持って歩み続ける



あす なつやすみ  
明日から 夏休み

こうつうじこ・みずのじこにちゅうい  
交通事故・水の事故に注意  
かぞくのいちいん・てつだいをする  
家族の一員・手伝いをする

みんなに よろこばれる やすみに  
みんなに喜ばれる休みに



## 前期前半終了日 ～全校集会で語ったこと～

前期前半は、4月9日、147名の新1年生を迎えた入学式を皮切りに、全児童821名と78名の先生方で過ごした約70日間の学校生活でした。

振り返ってみると、今年度も新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大の影響を受け、その予防のために、常時マスク着用、室内の換気と消毒、密にならない学習のスタイルなど、様々な制限のある中での学校生活を送らなければなりませんでした。

でも、みなさんはよく我慢して生活をし、学習を頑張っていました。みなさん一人一人の努力と心がけにより校内で感染が拡大することはありませんでした。校長先生はこのことをとても嬉しく思いますし、みなさんに感謝します。本当にありがとうございます。

現在は、県内の感染者は減少し、少し落ち着きが見られますが、まだまだ油断はできません。これからも引き続き感染予防に努めてください。

さて、中部小学校の教育目標は、『夢をもち、光かがやく 中部小っ子の育成』です。校長先生は、この前期前半に「光かがやく中部小っ子」を見つけましたよ。

まずは、北西門で見る毎朝の登校の様子で見つけました。登校旗を持っている登校班長さん、雨の日も暑い日も班長として毎日みなさんを安全に連れて来てくれました。中部小の「キラリさん」です。これからもよろしくお願いします。

6年生による自主的な「あいさつ運動」です。校長先生は、みなさんのあいさつがあと一歩だなあ・・・声が小さいし、あいさつをしない人もいる、残念だなあ・・・と思っていました。ところが、6年生による大きな声でのあいさつ運動「おはようございます」が始まると、登校して来たみんなも大きな声であいさつする人が増えてきました。進んでやってくれた6年生は中部小の「キラリさん」です。

校長室掃除にいつも来てくれている6年2組のみなさんがいます。わずか15分間の掃除ですが、無言で手際よく一生懸命に掃除をしてくれます。

みなさんのお手本になる掃除をする姿は、正に中部小の「キラリさん」です。

校長先生は、時々みなさんの授業の様子を見に行っています。一人一台のタブレットが入り、みなさんは、e-中部タイムや授業の中でその使い方を少しずつマスターしていていますね。4年生の社会科の授業では、タブレットを使って学習したり、オンラインで町役場の方とリアルタイムでやり取りをしたりする場面もありました。子ども達は、タブレットの使い方を覚えるのが早いと先生方は言われていますよ。進んで学ぼうとするみなさんの姿は、中部小の「キラリさん」です。屋上にあるプールで水泳や水遊びができてよかったですね。では、プール掃除をした人は誰でしょう？

中部小の先生方です。確か6月2日の午後、蒸し暑い日だったと思いますが、中部小の先生方全員で力を合わせて掃除をしました。きれいなプールで思い切り泳ぐみなさんの姿を思い浮かべながら掃除をしたんです。掃除したあとはとてもきれいになりました。いつもみなさんのことを思って、授業を考えたり、みなさんの相談にのったり、作業をしたりする先生方も中部小の「キラリさん」です。

今日紹介した中部小の「キラリさん」はほんの一部です。校長先生が知らないところで、友達を助けたり、草花や野菜に毎日水をやったり、落ちていたゴミを拾ったり・・・

これからもいろんな場面で「キラリ」と光かがやくみなさんの姿を沢山見たいです。

明日から37日間の夏休みに入ります。今年は去年と違って休みの日数が多くてうれしいですね。校長先生から一つだけ楽しい休みを過ごすために約束して欲しいことがあります。それは、「みんなに喜ばれる休みにして欲しい」ということです。そのために、ぜひ、交通事故や水の事故に遭わないこと、この前期前半に下校中の歩行の態度が悪かったり、危ない自転車の乗り方をしたりして指導を受けた人がいました。

自分の不注意で、大切な命、たった一つしかない命を失ってははいけません。

また、みなさんは休みでもお家の方は仕事に行かれます。家族の一員として、自分にできることは進んですること、お手伝いをするをお願いいたします。

さて、今月23日から1年遅れの東京オリンピック・パラリンピック2020が日本で開催されますね。世界中のアスリートが日本に集結して、様々なスポーツ種目で力と技を競い合います。やはり日本の選手の活躍に期待をしたいところですが、みなさんはどの種目のだれを特に応援したいですか？活躍が期待される3選手を紹介しましょう。

まずは、「池江璃花子（りかこ）選手」、水泳の選手です。白血病という病を克服して水泳のリレー種目にエントリーされています。力強い泳ぎに期待したいですね。

次は、「多田修平（しゅうへい）選手」、陸上男子100メートルに出場します。決勝まで進んで、是非とも9秒代で駆け抜けて欲しいと思います。

もう一人、「大坂なおみ選手」、女子テニスの世界トップクラスの実力を持つ選手です。力強い華麗な技で勝ち進んで欲しいですね。

校長先生は、特に熊本出身の次の3名の選手を応援したいです。

一人目は、「村上宗隆選手」、プロ野球ヤクルトスワローズに所属し、野球競技の「侍ジャパン」のメンバーの一人です。熊本市出身、校長先生の自宅のそばに村上選手の実家があります。九州学院高校を卒業後プロの世界に入り、入団当初からホームランを量産する期待の若手選手です。五輪の試合でもホームランを打って活躍してほしいです。

二人目は、「古賀紗理那（さりな）選手」女子バレーボールチームの中心選手です。実は古賀選手は、校長先生が天津小学校に勤務していたときの5年生に居ました。話をしたこともあります。私の理科の授業を受け、放課後は体育館でジュニアバレークラブの練習を頑張っていました。小学生の時から背が高く、アタッカーとして活躍し、全国大会にも出場、天津中バレー部時代も全国大会に出場し、高校は信愛女学院高校で活躍しました。メダルめざして頑張りたい選手の一人です。

最後は、「浦田りえ選手」です。南関町出身でパラリンピック・ゴールボールに出場します。浦田選手は、生まれつき目が不自由で、視力は0に近いです。しかし、優れた聴力を使って、鈴の音がするボールを投げたり、受け止めたりして、試合では大活躍します。校長先生は、前に勤務した学校で「浦田選手」に子ども達向けにお話をしてもらったことがあります。自分の体の障害と向き合って、前向きに明るく生きる、その生き方に感動しました。オリンピックが終わるとすぐにパラリンピックがあります。パラリンピックにも是非注目して、障害を乗り越え、たくましく躍動する選手に大きな拍手を贈って欲しいと思います。

では、みなさん、休み中、「事故無く、ケガ無く、病気無く」健康に十分気を付けて、楽しい夏休みを過ごしてください。